

会議名 総務・産業建設常任委員会

日時 令和7年6月2日（月）午前10時35分～午前10時50分

場所 第2・第3委員会室

出席議員 委員長 鬼頭博和 副委員長 塚崎海緒 委員 梅村 均
委員 日比野 走 委員 伊藤隆信 委員 塚崎海緒
委員 榎谷規子

欠席議員 なし

説明者 総務部長 中村定秋、建設部長 西村忠寿、消防長 加藤正人、総務部専門監 西山慎太郎、行政課長 兼松英知、都市整備課長 加藤淳、同統括主査 大徳康司、会計管理者兼会計管財課長 若森豊子、同統括主査 森吉正

事務局出席 議会事務局長 丹羽至、同主任 御嶽千夏

付議事件及び審議結果

議案番号	事件名	採決結果
議案第38号	石仏公園整備工事（土木工事）（2号工）の請負契約について	全員賛成 原案可決

◎委員長（鬼頭博和君） ただいまから総務・産業建設常任委員会を開催いたします。

当委員会に付託されました案件は、議案1件であります。

審査に入る前に、当局から御挨拶をお願いいたします。

◎建設部長（西村忠寿君） それでは、改めまして「石仏公園整備工事（土木工事）（2号工）の請負契約について」ということで、委員会を開催していただき、ありがとうございます。

石仏公園ですけれども、繰り返しになりますが、一日も早く開園をさせて市民の皆さんにお使いいただきたいという思いで担当部署はおるんですけれども、なかなか社会資本整備総合交付金の内示が悪かったりということで、非常に苦渋の思いといいますか、しておるところでございます。一日も早い開園を目指しまして私ども引き続き取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

本日は、グループ長以上が出席しております。丁寧な説明に努めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

◎委員長（鬼頭博和君） ありがとうございます。

それでは、審査に入ります。

議案第38号「石仏公園整備工事（土木工事）（2号工）の請負契約について」を議題といたします。

当局の説明はいかがいたしましょう。

〔「省略」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（鬼頭博和君） 当局の説明を省略し、直ちに質疑に入ります。

質疑はございませんか。

◎委員（梅村 均君） 本会議のほうで入札金額が150万円ほど高かったんですが、加算点の関係で高いほう花落札されたということで、なぜかというところで、加算点には技術力とか技術者の能力、また地域精通、地域貢献度、そういったものが加味されて加算点が高くて落札されたというような御説明がありましたんですけど、もう少し細かくその加算点にある技術力とか、どの評価が高かったのかというところですかね。技術力が高かったのかとか、地域貢献度がずば抜けていたのかとか、そこら辺りをお聞かせいただけないでしょうか。

◎会計管財課統括主査（森 吉正君） 今回落札者となった大興・栗本特定建設工事共同企業体につきましては、過去の工事の施工実績や成績から評価

する企業の技術力で9点、配置予定の技術者の過去の工事实績ですとか、工事成績から評価する技術者の能力の項目で7点、地域精通度・地域貢献度の項目で評価する項目からは8.5点、合計の24.5点と、いずれの項目においても高い加算点を獲得しています。

◎委員長（鬼頭博和君） ほかに質疑はございませんか。

◎委員（梶谷規子君） 今、総合評価の加算点の説明をお聞きしましたが、その落札金額で150万円の差を逆転する加算点の中身というのが、もちろん加算点では10点の差ということですが、逆転していく中身というのがまだいまいち分からないんですが、教えてください。

◎会計管財課統括主査（森 吉正君） 総合評価落札方式におきましては、落札者の決定に係る評価というのは、この最終的な評価値によって行いまして、評価値の最も高いものを落札者と決定をするものですけれども、その算出方法についてもう少し説明させていただきますと、まず100点を標準点として与えまして、各入札参加者の標準点プラス、ここでいう加算点を100で割って、次に分数になりますけれども、入札価格分の予定価格を掛けることで算出をします。これにより、加算点の高さと入札価格の安さの両面から総合的に評価されるようになっております。

今回の大興・栗本特定建設工事共同企業体で具体的に計算をすると100分の124.5点掛ける2億8,900万円、これは税抜きの入札価格ですが、2億8,900万円分の予定価格である3億167万円、この計算の結果が1.29958となり、最も上位となります。

なお、参考に申しますと、加算点で1点違うと入札価格で言うと0.8%程度の差を埋めるくらいの影響があるというふうに計算をしております。

◎委員（梶谷規子君） 難しい計算式が丁寧に説明していただいて少し分かりました。

その中の点数化するという地域貢献度というのは、どんなふうなところで点数化するんでしょうか。

◎会計管財課統括主査（森 吉正君） 地域精通度・地域貢献度に関する事項の評価項目ということになりますけれども、主なものを上げますと、例えば本支店の所在地、企業の所在地ですとか、岩倉市が過去に行った公共工事の施工実績のありなしですとか、あとは災害協定等に基づく活動実績があるかないか等の評価項目があります。

◎委員（梶谷規子君） その地域貢献度の中身についてなどというところで3点ぐらい分かったんですが、その中での数値化、点数化するのは具体的にどの項目がみたいなどの詳細はどうなんでしょうか。

◎会計管財課統括主査（森 吉正君） では、地域精通度・地域貢献度に関する事項の評価項目と、それに対する加算点を申し上げますけれども、先ほど申し上げた本支店の所在地でいいますと、本店が岩倉市内にある場合は加算点2点、支店が岩倉市内にある場合は加算点1点、それに該当しない場合は0点、これが1つ目の項目です。

2つ目の項目として、岩倉市発注の公共工事の施工実績があれば1点、なければ0点、この施工実績については期間が設けられていまして、何年から何年の間に行ったものがあるかどうかという条件はあります。

それから、災害協定等に基づく活動実績につきましては、岩倉市との協定に基づく活動実績があれば2点、愛知県との協定に基づく活動実績があれば1点、それに該当しなければ0点。

先ほど申し上げた項目については、以上のような点数配分となっております。

◎委員（梶谷規子君） ありがとうございます。よく分かりました。

だから、その企業が市に寄附行為が大きいとか、そこら辺は全然加味されていないということでの確認はよろしいですか。

◎会計管財課統括主査（森 吉正君） 企業が市に対して寄附をするか否かというのは評価項目にはありません。

◎委員（梶谷規子君） はい、分かりました。

この石仏公園というのは、14年前に木村議員が岩倉には公式の競技ができるようなサッカーグラウンドがないということの要望から、その要望実現のためにということで、市が防災の面でも市の緑地公園も少ないから、そういった面でもという多方面での様々な市民要望の中でようやく整備工事にこぎ着けた、市民も本当に待ち焦がれている公園だと思います。

それが1年延びるということは、本会議での御答弁にもあったように、交付金が非常に内示率が低くなったという大変な状況の中で、市民も1年間我慢しなくちゃいけないという状況だと思うんですが、関係団体にはいろいろ説明があるということ、利用の関係団体の説明ということはしていただいているということをお聞きしていますが、近隣の地域の方たちへの説明なども同時に行ってもらっているということは、どうでしょうか。

◎都市整備課長（加藤 淳君） 5月21日の全員協議会でも少し答弁させていただいたんですが、近隣の住民の方の説明については、今回この審議で議決いただきまして、今の状態では仮発注ですので、発注後少し準備をさせていただいて、昨年度は地元説明会は初めてということでやらせていただいたんですが、今回は2年目ということで、近隣の住民の方に少しこちらからお

宅のほうに訪問させていただくと、今のところはやり方はちょっとまだ決めてはいないんですが、丁寧に説明していきたいと考えております。

◎委員長（鬼頭博和君） ほかに質疑はございませんか。

◎委員（梅村 均君） すみません。もう一つだけ、先ほどの加算点の計算の仕方で、共同企業体になる場合は、それぞれの会社の点数を出して割る2という考え方なんでしょうか。

◎会計管財課統括主査（森 吉正君） 共同企業体の場合は、その共同企業体を構成する各企業のそれぞれ最大、最もよい部分を採用しております。

◎委員長（鬼頭博和君） ほかに質疑はございませんでしょうか。

◎副委員長（塚崎海緒君） 教えていただきたいんですが、入札のときの審査委員というのは、この岩倉市入札契約審査委員会で構成されている10名の方々に、この入札が審査されているという認識でよろしいでしょうか。

◎会計管財課統括主査（森 吉正君） 落札者の決定に関する審査については、入札契約審査委員会で審査を行ったものです。

◎委員長（鬼頭博和君） よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

◎委員長（鬼頭博和君） それでは質疑がないようですので、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

委員間討議を省略したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（鬼頭博和君） 御異議なしと認め、委員間討議を省略します。

次に、議案に対する討論に入ります。

討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（鬼頭博和君） 討論はないようですので、直ちに採決に入ります。

議案第38号「石仏公園整備工事（土木工事）（2号工）の請負契約について」、賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

◎委員長（鬼頭博和君） 全員賛成により、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、当委員会に付託されました案件は議了いたしました。

なお、本委員会の委員長報告の文案につきましては、正・副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（鬼頭博和君） 御異議なしと認め、そのように決しました。

以上で、総務・産業建設常任委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。